

令和7年度 園芸科「総合実習（野菜）」シラバス

単位数	2単位	学科・学年・学級	園芸科 1年A組
教科書	野菜（実教出版）	副教材等	総合実習ノート

1 学習の到達目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

（２）農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。

（３）農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

2 学習の計画

月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
4	トウモロコシ・カボチャの栽培	野菜類の育苗技術	農具の使用方法・管理方法を学ぶ。 育苗上の注意を学ぶ。 苗の管理技術を学ぶ。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
5		露地栽培における果菜類の栽培	トンネル被覆による効果を学ぶ。	
6			カボチャの定植を行う。 整枝を行う。 誘引を行う。	
7				
9	ブロッコリー・レタス・ダイコンの栽培	露地栽培における葉菜類の栽培	育苗トレイを使用し、ブロッコリー・レタスのは種を行う。 かん水を行う。 トンネルの開閉、温室窓の開閉による温度調整技術を学ぶ。 定植を行う。 土壌の適性pHを測定する。 苦土石灰を作目に応じたpH調整を行う。 ダイコンのは種を行う。 ハウレンソウのは種を行う。 病害虫防除の方法について学ぶ。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
10		露地栽培における根菜類の栽培		

1 1 1 2	ブロッコリー・レタス・ダイコンの栽培	露地栽培における根菜類の栽培	ブロッコリーを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 レタスを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 ホウレンソウを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 ダイコンを収穫し、計量・調整を行う。 品質保持技術について学ぶ。 販売実習を行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認
1 2 3	土壌について 野菜の育苗	土壌の種類・性質 野菜類の育苗技術	土壌消毒を行う。 病害虫対策の方法を学ぶ。 雑草対策の方法を学ぶ。 土壌の適性pHを測定する。 苦土石灰を作目に応じたpH調整を行う。 土質・土の性状 肥料配合を行う。 施肥技術について学ぶ。 マルチングを行う。 セル成形苗を育苗する。 播種を行う。 ポリポットの種類・使用方法について学ぶ。 鉢上げを行う。	毎時毎に評価する 出席状況 服装・教具の整備 行動観察 ノート提出状況 ノート記載内容 実習結果確認 意見発表会原稿評価で代替

3 評価の観点

知識・技術	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 農業生物の育成と環境保全に関するプロジェクト学習を通して、知識と技術を理解し、農業の社会的な意義や役割を理解している。
思考・判断・表現	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。 体験的、探究的な学習活動を通して、生物生産の仕組みとその育成や地域環境に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決しようとしている。
主体的に学習に取り組む態度	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 農業の各分野への展開と活用を目指し、主体的かつ協働的に取り組む態度を養い、農業の振興や社会貢献に主体的に協働的に取り組む力を身に付けている。

4 評価の方法

「知識・技術」，「思考・判断・表現」，「主体的に学習に取り組む態度」，の3観点から評価規準に従い，総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ

- ・出席を常にしてください。
- ・実習中心の科目です。実習に必要な実習服、教具を準備し、適切な服装で参加してください。
- ・毎時の実習内容、感想、反省を時間内に整理し、記入してください。
- ・次年度の実習に向け、機械、用具の名称や使用目的を覚えてください。
- ・実習ノート提出を定期的に行ってもらいます。各時間内にまとめ、常に整理されている状態にしてください。
- ・安全に配慮して、実習してください。